
Catch the eye 2015年9月

2015/9/3
(木)

ジェネラル

スマホにしてから時々速報の着信がある。気象の注意報、警報も届く。北区に激しい雨の降る可能性。たしかに雨音が強い。昨日も今日も蒸し暑い。それでも夏服では風景に合わないの、それなりの身支度で出かけたなら、汗が背中を流れる。あーあ、季節の演出も楽じゃない。

季節感で風景に一役買う程度はお安いもの。それが大きな仕事の演出となるとその責務大。否、仕事の大小をとわず、スペシャルな成果を出すまでにはジェネラルな仕事ぶりが欠かせない。このジェネラルな才がうまく養われない環境になっていそうだと感じて久しい。

今回のエンブレムの問題、二人のコメントが耳にとまった。経済同友会の代表いわく「社会全体がたるんでいるんじゃないか」、FMのDJいわく「若い世代を中心に仕事を広く見渡す、ものごとを緻密にやる、やろうとする、そういう感覚、意識が少なくなっているんじゃないか」。

スマホを見ながら駅周辺で道を探している人を初めて見た時、こういう人が増えていくと、仕事の下準備、段取りをうまく整えられる人は少なくなるなと思った。ファストフードをよく利用する人は、平気でポイ捨てをする人が多い。人ごみでタバコを吸い人は、よく信号無視をする。

何年前だったか、仕事の段取りをとりあげた本が出た時には、やはりそういうことになっているのかと思った。段取りは想像力を鍵に、状況を観察し、何が善くて悪いかの基本的な倫理を身にそなえ、それ相応の奉仕も伴う。そういうことを損得で考える人が増えているのかもしれない。

とりあえず自分自身はジェネラルな才を養い、段取りを怠らないようにしなければと思う、今日この頃。

2015/9/9
(水)

構え

台風18号は近畿から遠ざかったのか、晴れてきた。昨日白露、今日重陽。デバ地下には月見の菓子類が並ぶ。彼岸花をあしらった葉書を買っておいた。来年の手帳リーフをはやく手にしたいところ。

だいたい今年一年の様相は見えてきた。1月からの流をたどり、あれがこうつながったか・・・と、今年初めに出くわした光景を思い出す。鳩の一件である。今年のことだけど、たぶん、一生忘れないんじゃないか。

出あった光景や出来事をどう読むか。これはけっこう大事なことで、場合によっては人生の選択につながることもある。実際にそういうことを経験しているから、自分の中で簡単には受けながさない。

まずは何を意味しているだろう考える。自分にとってどういう意味があるだろうと、四方八方から考えをめぐらせる。このプロセスに入ったら、最後は必ず、大なり小なり、何か次の手をとる。

「手紙を書こう」という程度の時があれば、「独立しよう！」という決断もあった。どんな場合も、未来を拓くのは自分自身であるから、何かをとらえようと待機する構えは忘れないでおきたいもの。

2015/9/12
(土) から

Jeju

旧暦の8月15日＝「秋夕」前に親戚一同でお墓の草取りをする習わし。この行事に今年もきょうだい3人で参加。空港からまっすぐ親戚の家へご挨拶。いつもの普通の昼食のおかずが、何よりのごちそう。



9/13の日曜朝、親戚の家は海のすぐそば。一同がここで集合し、いざ、山々へ。



近年は、点在する盛り土の昔ながらのお墓をまとめて平地に埋葬し直すことが増え、午前中で作業が終了。最後は毎年同じく、みかん畑の中にある昔ながらの大きなお墓。



作業終業後、カルビ店で打ち上げ。よく食べ、よく飲み、よくしゃべり、懇親を深める。午後2時すぎにはホテルへ。窓からハルラ山が見える。何度もチェジュへ来ているのに、一度も登山をしたことがない。いずれ、必ず！



9/14月曜、日本へ帰る便は午後7時半。まずは昨年同様、「観音寺」へお参り、お供えのメロンをもって。



観音寺の後、道立美術館へ行くつもりが、月曜で休館。うっかりしていた。そのままホテルへ戻り、昼食のあと、カフェ「AT HOME」で一服。なかなかいい感じのお店。



まだまだ時間があるので、旧市街地にある「済州牧官衛」へ。





親の世代がやっている時には、ただ言われるままにしていた法事や祖先の供養。自分の代になってみると、自然に責任感が芽生え、気持ちも入り、親がやっていたことを守ろうとする。親や前の代を偲ぶ思い、そういうものが、冠婚葬祭や昔ながらの風習を残すことにつながっているのだと、母も他界した11年前に感じた。

今回、祖父母のお墓の伸びに伸びきった草を皆で刈り、きれいになったお墓の前にお供えをして、皆で礼を上げ、いつもなら今年のお役を果たした気持ちでその場を去るのだけど、そうはならなかった。これまでにない感情が浮き上がった。あっさりとは去りがたい気持ちになった。

皆が順に来た道に戻っていく最後に、なんと、生前に母が建立した祖父母の墓石を撫でたのだった。撫でながら、心の中で、“また来年来ます”と語っているのだった。自分にこういうことが訪れるとは…。3年前2012年の父の移葬の運びまでは、一度も会ったことのない祖父母の、その存在さえ、意識したことがないのに。年齢を重ねる妙を感じた一幕。

2015/9/17
(木)

努力

チリ沖で大きな地震があったとの一報あり。日本にも、すぐにはなくても、追って何か影響がありそう。天と地と、その間に立ち、暮す人間。自然信仰も頷ける。大阪は雨。ビルのクーラーが効きすぎて、少し寒い。

消費税の還付案断念の一報もあった。シンプルに考えて、どうしてそんな余計な仕事を増やすことをするのかというアイデアだった。おさまるところに収まった感。

安保法案はこの期におよんでマスメディアが賛否両者の動きを積極報道。反対する野党の政治家に真剣み、信念がみえず、どうにも流れは変えられない感。

世の中が変わっても変わらなくても、変わらず自分ならではの誰かのためになる道を拓き、整え、磨きをかける。そういう努力がこれからますます必要になってくる社会。その感を強くする今日この頃。

2015/9/21
(月) から

ソウル

旧知の友人から調査事業の参加メンバーに誘われ、一泊二日で韓国ソウルへ。韓国におけ中小企業支援について意見交換会を営・技術指導士会へ申し出てあって、到着してみると、会議室に歓迎のセッティングが完璧にしてあった。



22日、企業訪問のためにミョンドンのホテルからパコダ公園まで歩く。放火で消失した「南大門」も再建。



ソウル市図書館前。オープンな広場になっていて、これまで何度か来たところ。ここから「光化門」⇒清溪川⇒仁寺洞⇒パコダ



パコダは、「3.1運動」宣言の地。門の名も「31門」。





おばあさん二人がこの塔のまわりをお百度。人の祈る姿は美しい。



企業訪問を終え、有名な書店、教保書房で資料をあたり、一人帰国の途へ。ソウルへ来るといつもこの光化門の交差点からの写真を撮る。



今回はじめてカンナムの街を見て、通った。外国車が行き交い、おしゃれな高層ビルが立ち並び、車の渋滞がすごい。ここが、韓国の人羨む場所という感じがよく伝わった。優れた中小企業が少なく、大企業以外とその他では、賃金の差が2倍もあるという韓国。日本に比ではない、厳しい就活。

北との戦争が終わってからが韓国の戦後。それから、がむしゃらに発展を目指し、ここに来て、いろいろな弊害が現れてきた。昨年の船の事故が象徴的。安全を後回しにして、急速に成長してきた、いまそれをふり返り、あらためて今後のあり方を展望し始めている。訪問した企業の社長も、知人の大学の先生も同じことを言っていた。

社長に尋ねてみた。安全を重視、人々がもう少し暮らしよい社会になるのに、どのぐらいかかると思うかと。答えは50年。50年はかかるだろうということだった。3年前、知人に頼まれ韓国の大学2ヶ所で日本の就活事業を話したことがある。学生は悲愴であった。選択肢の多い社会に、政治はかわるだろうか。

2015/9/24
(木) 洗練と許容

連休明けの雨。お土産を会社へもって行かなければいけない人は、気がめいていること。いつからシルバーウィークと呼ぶようになったのか、五連休だった人はいまの日本でどのぐらいいただろう。ともあれ、暑さ寒さも彼岸まで、いい季節になってきた。

例年9月前後は私用が重なり慌ただしい。祖父の法事と中秋15日の法事、その前に親戚一同でやるお墓の草取りへの参加。それを終え先週14日月曜に戻ってきたのだが、一週間後の21日にまた韓国へ渡航することになった今年は。

2013年以来のソウルだった。いつも拠点にしている仁寺洞近くに今回の訪問先があり、歩きなれた見慣れた場所を通った。表通りの広い交差点近くに新しい立派な高層ビルが建ってきた。2年前工事中だった一画が様変わりしていた。

新旧交代がすすむビルのつくり。10年前、仁川空港になってから初めて降りた時、洗練された建物に、韓国もこうなってきたかと感心したものだった。ただ、本当に洗練されていくには、一つ関門がある。トイレ。トイレの設備と使い方。

今もいるのか、かつて見かけた電車の中での物売り。乗客と物売りの暗黙の了解とやりとり。この物売りが許容されている限りは、韓国社会は健全だと思った。そう考えると、トイレの使い方が洗練されていくと、この物売りは許容されなくなるかもしれない。さて、どこへ向かうだろう。

2015/9/28
(月)

十六夜満月

中秋の満月、今年はスーパームーン。月の出時間に合わせ、グランフロント北館の屋上テラスへ上がる。ビルに隠れて、月の出の瞬間は見逃した。おまけに、写真もブレてしまった…。秋らしい雲だけはきれいに撮れた。



2015/9/29
(火)

空

一昨日十五夜、昨日スーパームーン。月の出時間に合わせ、グランフロント北館の屋上テラスへ行ってみた。高層ビルに合間あいまに見える山。なんともジャマなビルたち。さて、どこから上がるのか。

少し離れたところで三脚をすえる男女。『位置はこのあたりですか?』。『たぶんそうだと思います』。何の位置かを聞かずとも、相手もわかる。けっこう早くから陣取っていたよう。

『見えた、見えたよ』と誰かの声。えっ?と声を方向へ行ってみる。テラスの木々の間、ビルの中にオレンジ色の満月。腰を落としてでないと、よく見えない。これでは三脚では無理。彼らはちゃんと撮れただろうか。

子供の頃から空をよく見ている。見ないではいられない、すぐ目の前に広がっているのだから。もし空に気をとられなくなったとしたら、それは自分を失っている時だ。空を見るゆとりをなくしてはいけない。

2015/9/29

明け方の満月

5時前ぐらいにぱっと目が覚めた。西向き自室に月の光。あたりが暗く、月光輝く。



* 事後メモ

例年9月は私用が重なり立てこむ。加えて今年は、まさか韓国へ2週続けていくことになるとは思わなかった。今年初めには想像していなかった。毎年毎年、何か変化がある。さて、そろそろ来年も視野に入っている頃。またどんな変化が待ち受けているだろうか、2016年は。